

JAGES岩沼プロジェクト最終報告 災害とレジリエンス：災害科学のこれから

開催日時：2024/1/20（土） 14:00-17:30（13:30開場）

開催形式：オンラインとオンサイトのハイブリッド形式 参加費：無料

会場：東京医科歯科大学 歯学部特別講堂（東京都文京区湯島1-5-45 D棟4階）

宮城県岩沼市で2010年から高齢者の健康やソーシャル・キャピタルの調査を行ってきた岩沼プロジェクト。東日本大震災の発生前からのデータがある希少さから国内のみならずアメリカ国立衛生研究所（NIH）の支援を受けて実施されてきた。NIH助成金の最終年度を迎えるにあたり、プロジェクトが注目したのが災害とレジリエンス（困難をしなやかに乗り越え回復する力）。本シンポジウムにて、WHO健康開発総合研究センター、防災科学技術研究所、ハーバード大学で活躍する第一線の研究者の他、今後有望な若手研究者が参集し、多角的に災害と健康、レジリエンスそして災害科学の未来について話し合う。

第1部：最近の災害科学の展開

- 「防災の保健医療分野における研究の世界的潮流とWHOの取り組み」
茅野 龍馬（WHO健康開発総合研究センター）
- 「災害レジリエンスに関する研究潮流」
永松 伸吾（防災科学技術研究所）
- 「Social capital and disaster resilience」
Kawachi Ichiro（ハーバード大学）

第2部：岩沼研究からの示唆

- 「健康の社会的決定要因と東日本大震災」
相田 潤（東京医科歯科大学・東北大学）
- 「ソーシャル・キャピタルと心的外傷後成長」
引地博之（北里大学）
- 「震災のメンタルヘルス・健康格差への長期的影響」
木野志保（東京医科歯科大学）
- 「ライフコースの視点からみる震災レジリエンスー幼少期の影響ー」
奥園桜子（ハーバード大学）
- 「震災被害のジェンダー差についてーPTSSや食事内容への影響ー」
矢澤亜季（国立国際医療研究センター）
- 「震災関連トラウマと健康格差」（動画）
芝孝一郎（ボストン大学）

第3部：パネルディスカッション 未来のための災害と健康

座長 近藤克則（千葉大学・国立長寿医療センター）

<URLまたはQRコードよりお申し込みください>

《現地参加申込

<https://forms.gle/RpaXKNuoe1M6zxxr8>

オンライン参加申込》

<https://forms.gle/hE1zHHdjANu2eejM9>

主催 JAGES岩沼プロジェクト

（ハーバード大学、千葉大学、東北大学、東京医科歯科大学を中心とした研究者）

協力：WHO健康開発総合研究センター

国立研究開発法人防災科学技術研究所